

国民全体を対象とした調査

「国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査」の概要

平成 28 年 2 月
内閣府政府広報室

調査対象	全国20歳以上の日本国籍を有する者 3,000人 有効回収数 1,727人 (回収率 57.6%)
調査時期	平成28年1月14日～1月24日 (調査員による個別面接聴取)
調査目的	国民のアイヌに対する理解度に関する意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無 アイヌの人々に対する差別や偏見について 国民理解の促進について
調査実績	「アイヌ政策に関する世論調査」 (平成25年10月調査)

※ 本資料では、過去の調査結果との比較において、統計学的に有意差 (信頼度 95%) が認められる回答については、「(増)」または「(減)」と記載している。

アイヌの人々を対象とした調査

「国民のアイヌに対する理解度についての意識調査」の概要

平成 28 年 2 月
内閣官房アイヌ総合政策室

調査対象	全国 20 歳以上のアイヌの人々 1,000 人 有効回収数 705人 (回収率 70.5%)
調査時期	平成 27 年 10 月 26 日～平成 27 年 11 月 20 日 (調査票郵送方式)
調査目的	アイヌの人々の立場からアイヌに対する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	アイヌに対する差別や偏見について 国民理解の促進について
調査実績	アイヌの人々を対象とした全国調査は今回が初

2 アイヌの人々に対する差別や偏見について

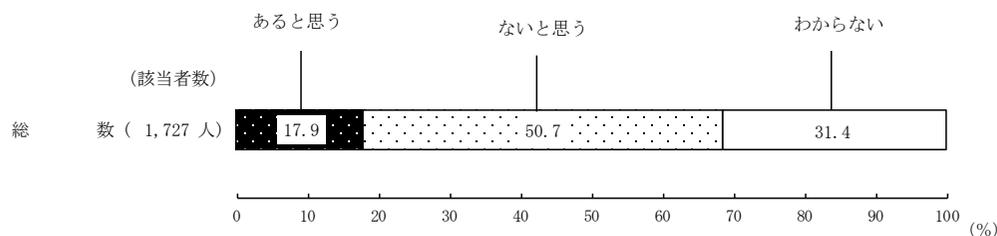
(1) アイヌの人々に対する差別や偏見の有無

国民全体を対象とした調査

問2 あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思いますか、それともないと思いますか。

平成 28 年 1 月

- ・あると思う 17.9%
- ・ないと思う 50.7%
- ・わからない 31.4%



[参考] アイヌへの差別や偏見の有無

	該当者数	平等であると思う (小計) %	平等であると思う %	どちらかというところ平等であると思う %	平等ではないと思う (小計) %	どちらかというところ平等ではないと思う %	平等ではないと思う %	わからない %
平成 25 年 10 月 調査	1,745 人	50.4	25.3	25.1	33.5	24.3	9.2	16.1

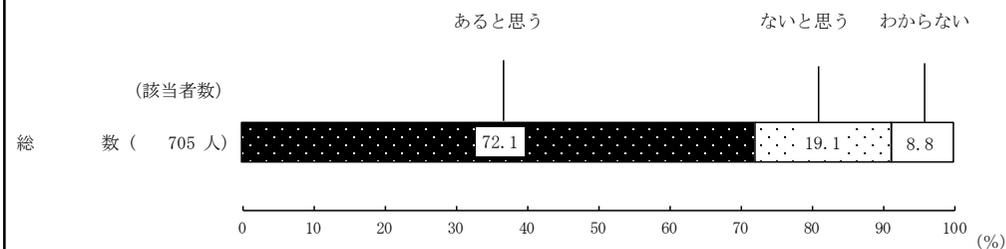
(注) 「あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見がなく平等であると思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

アイヌの人々を対象とした調査

問1 アイヌに対して、現在は差別や偏見があると思いますか。この中から1つだけお答えください。

平成 27 年 11 月

- ・あると思う 72.1%
- ・ないと思う 19.1%
- ・わからない 8.8%



(ア) 差別や偏見があると思う理由

国民全体を対象とした調査

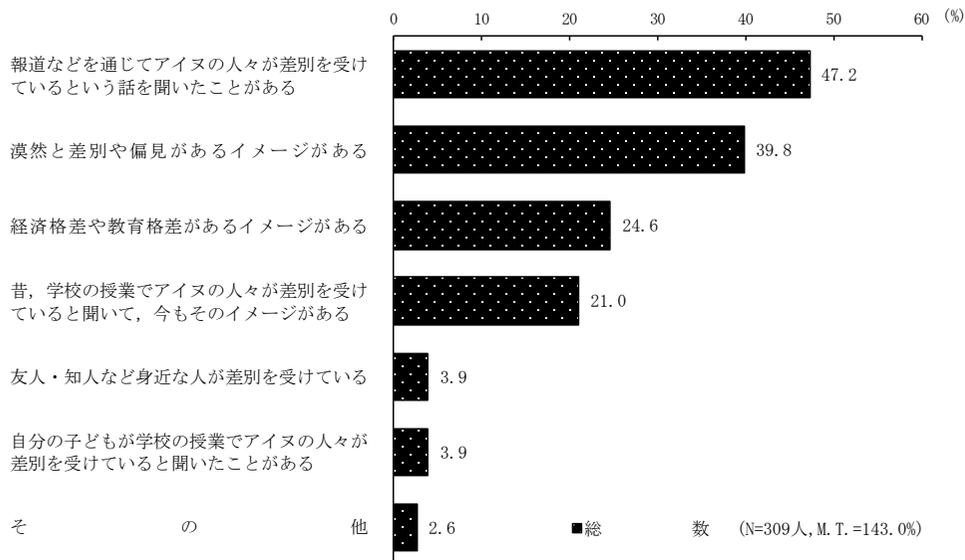
更問1 (問2で「あると思う」と答えた者 (309人) に)
あなたは、なぜ差別や偏見があると回答しましたか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位4項目)

平成28年1月

- ・報道などを通じてアイヌの人々が差別を受けているという話を聞いたことがある 47.2%
- ・漠然と差別や偏見があるイメージがある 39.8%
- ・経済格差や教育格差があるイメージがある 24.6%
- ・昔、学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていると聞いて、今もそのイメージがある 21.0%

〔アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答〕



アイヌの人々を対象とした調査

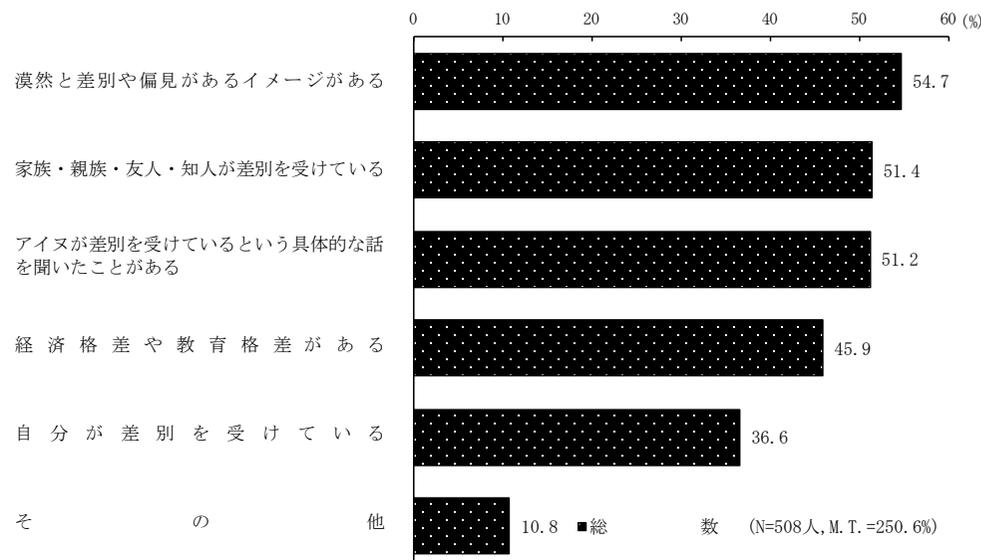
更問1 (問1で「あると思う」と答えた者 (508人) に)
なぜ差別や偏見があると回答しましたか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位4項目)

平成27年11月

- ・漠然と差別や偏見があるイメージがある 54.7%
- ・家族・親族・友人・知人が差別を受けている 51.4%
- ・アイヌが差別を受けているという具体的な話を聞いたことがある 51.2%
- ・経済格差や教育格差がある 45.9%

〔アイヌに対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答〕



(イ) 自分が受けた差別

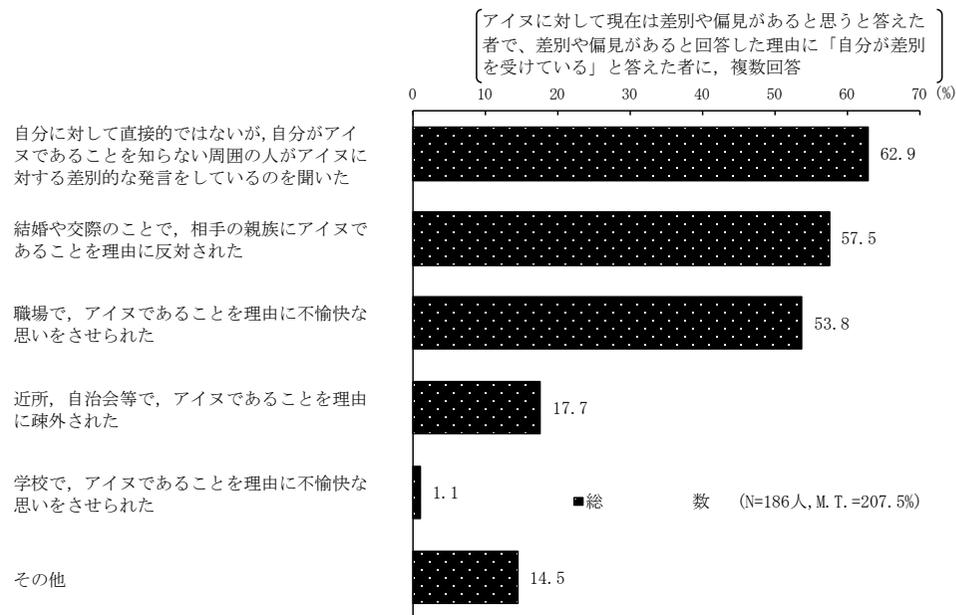
アイヌの人々を対象とした調査のみ

更問2-1 (問1更問1で「自分が差別を受けている」と答えた者(186人)に)
 どのような場面でどのような差別を受けましたか。
 この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位3項目)

平成27年11月

- ・ 自分に対して直接的ではないが、自分がアイヌであることを知らない周囲の人がアイヌに対する差別的な発言をしているのを聞いた 62.9%
- ・ 結婚や交際のこと、相手の親族にアイヌであることを理由に反対された 57.5%
- ・ 職場で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた 53.8%



(ウ) (家族・親族・) 友人・知人など身近な人が受けた差別

国民全体を対象とした調査

更更問 (問2更問1で「友人・知人など身近な人が差別を受けている」と答えた者(12人)に)

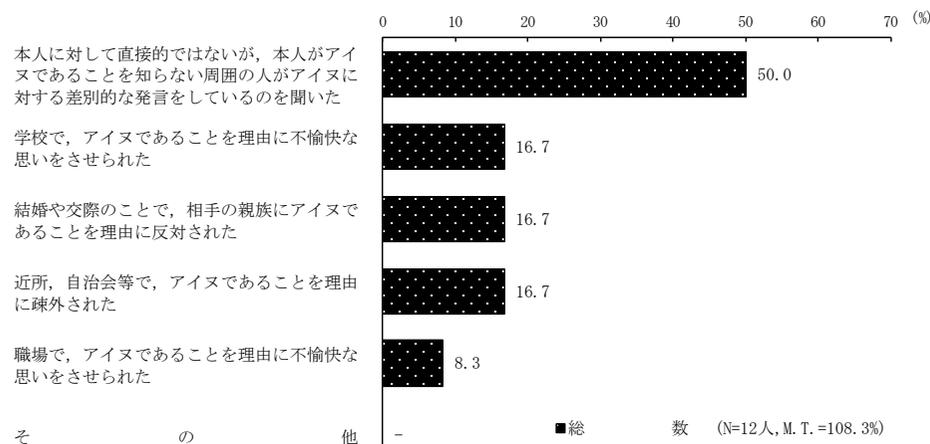
友人・知人など身近な人が受けたのは、どのような場面における、どのような差別でしたか。この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位4項目)

平成28年1月

- ・本人に対して直接的ではないが、本人がアイヌであることを知らない周囲の人がアイヌに対する差別的な発言をしているのを聞いた 50.0%
- ・学校で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた 16.7%
- ・結婚や交際のことで、相手の親族にアイヌであることを理由に反対された 16.7%
- ・近所、自治会等で、アイヌであることを理由に疎外された 16.7%

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思うと答えた者で、差別や偏見があると回答した理由に「友人・知人など身近な人が差別を受けている」と答えた者に、複数回答)



アイヌの人々を対象とした調査

更問2-2 (問1更問1で「家族・親族・友人・知人が差別を受けている」と答えた者261人)に)

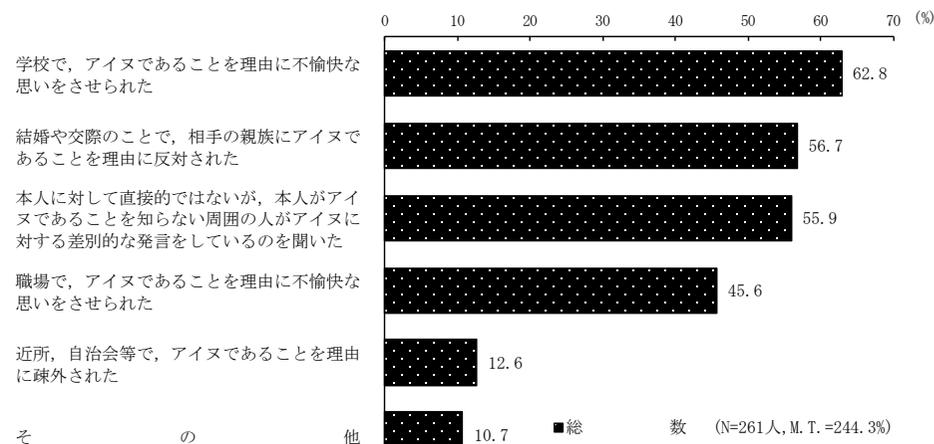
家族・親族・友人・知人が受けたのはどのような場面でのどのような差別でしたか。この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位4項目)

平成27年11月

- ・学校で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた 62.8%
- ・結婚や交際のことで、相手の親族にアイヌであることを理由に反対された 56.7%
- ・本人に対して直接的ではないが、本人がアイヌであることを知らない周囲の人がアイヌに対する差別的な発言をしているのを聞いた 55.9%
- ・職場で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた 45.6%

(アイヌに対して現在は差別や偏見があると思うと答えた者で、差別や偏見があると回答した理由に「家族・親族・友人・知人が差別を受けている」と答えた者に、複数回答)



(エ) 差別や偏見の原因・背景

国民全体を対象とした調査

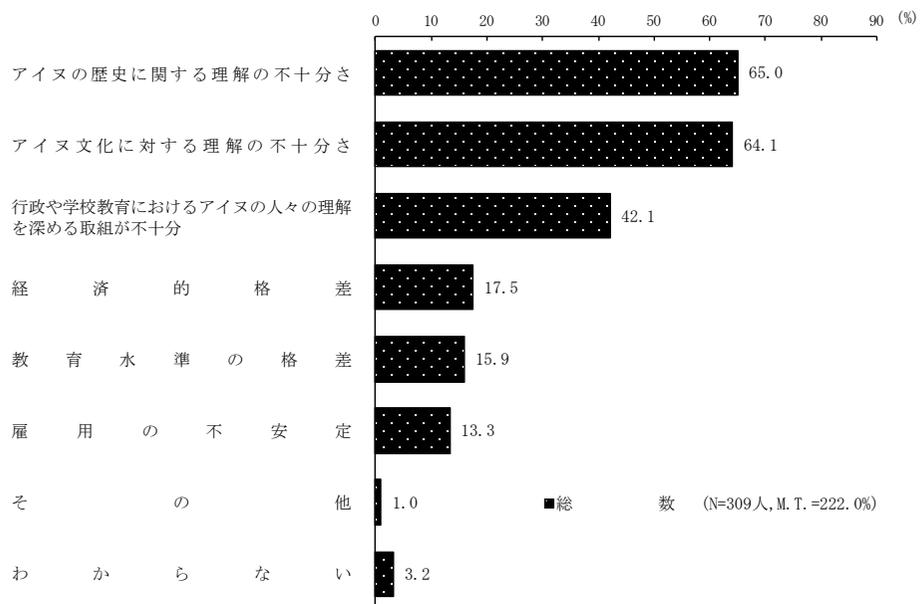
更問2 (問2で「あると思う」と答えた者(309人)に)
差別や偏見の原因・背景は何だと思えますか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位3項目)

平成28年1月

- ・アイヌの歴史に関する理解の不十分さ 65.0%
- ・アイヌ文化に対する理解の不十分さ 64.1%
- ・行政や学校教育におけるアイヌの人々の理解を深める取組が不十分 42.1%

〔アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見
が「あると思う」と答えた者に、複数回答〕



アイヌの人々を対象とした調査

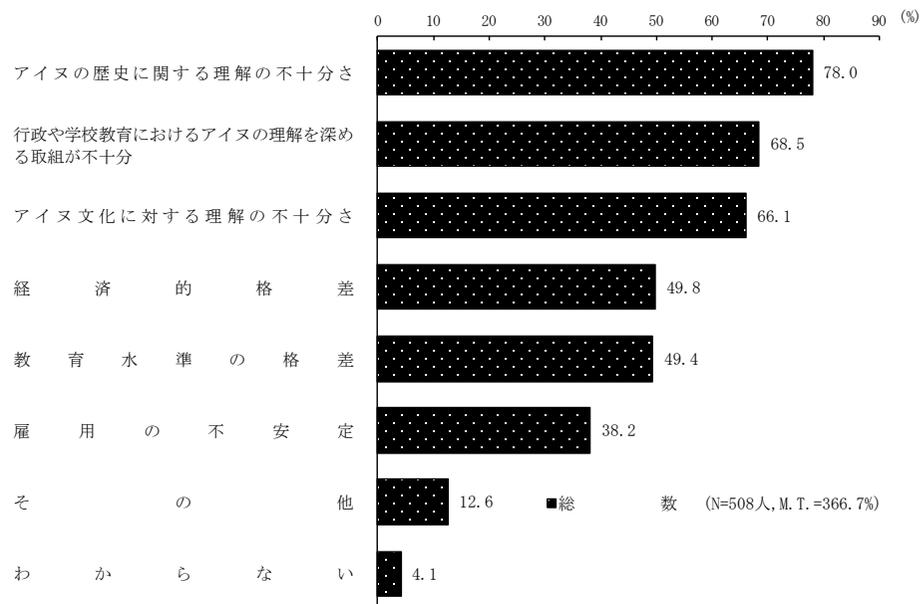
更問3 (問1で「あると思う」と答えた者(508人)に)
差別の原因・背景は何だと思えますか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位3項目)

平成27年11月

- ・アイヌの歴史に関する理解の不十分さ 78.0%
- ・行政や学校教育におけるアイヌの理解を深める取組が不十分 68.5%
- ・アイヌ文化に対する理解の不十分さ 66.1%

〔アイヌに対して、現在は差別や偏見が
「あると思う」と答えた者に、複数回答〕



(オ) 差別や偏見を無くすために必要なこと

国民全体を対象とした調査

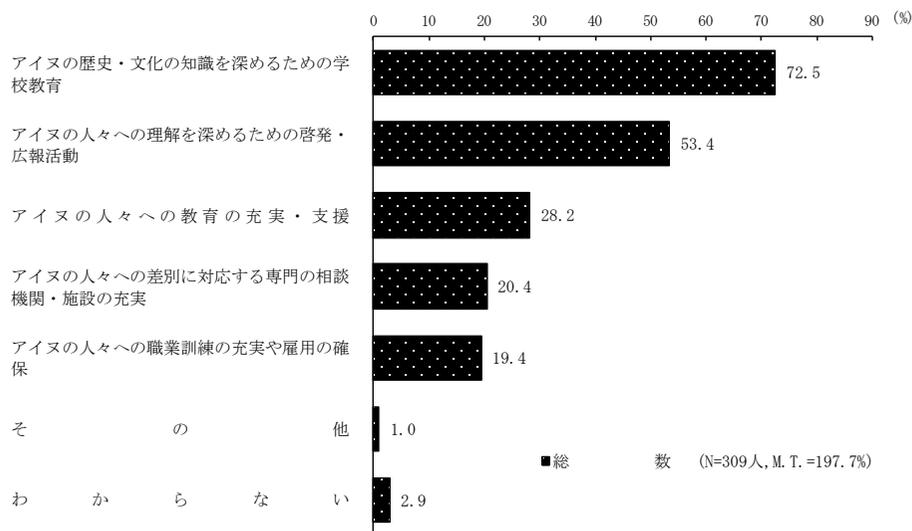
更問3 (問2で「あると思う」と答えた方 (309人) に)
差別や偏見を無くすために必要なことは何だと思えますか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位3項目)

平成28年1月

- ・アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育 72.5%
- ・アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動 53.4%
- ・アイヌの人々への教育の充実・支援 28.2%

〔アイヌの人々に対して, 現在は差別や偏見
が「あると思う」と答えた者に, 複数回答〕



アイヌの人々を対象とした調査

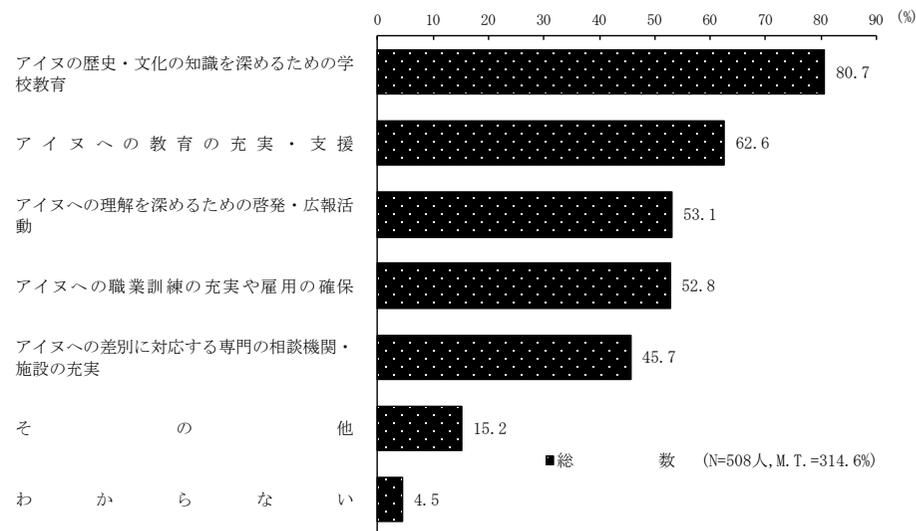
更問4 (問1で「あると思う」と答えた方 (508人) に)
差別を無くすために必要なことは何だと思えますか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位3項目)

平成27年11月

- ・アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育 80.7%
- ・アイヌへの教育の充実・支援 62.6%
- ・アイヌへの理解を深めるための啓発・広報活動 53.1%

〔アイヌに対して, 現在は差別や偏見が
「あると思う」と答えた者に, 複数回答〕



[参考] 重要だと思うアイヌ関連施策

(複数回答)

	該 当 者 数	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌ文化の更なる振興	アイヌの人々への教育の充実・支援	アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の確保などの生活支援	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 25 年 10 月 調 査	1,745	51.3	43.4	31.1	27.1	25.4	21.5	1.1	7.2	9.3	217.5

(注) 「あなたは、アイヌの人々に関する施策のうち、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(カ) 差別や偏見がないと思う理由

国民全体を対象とした調査

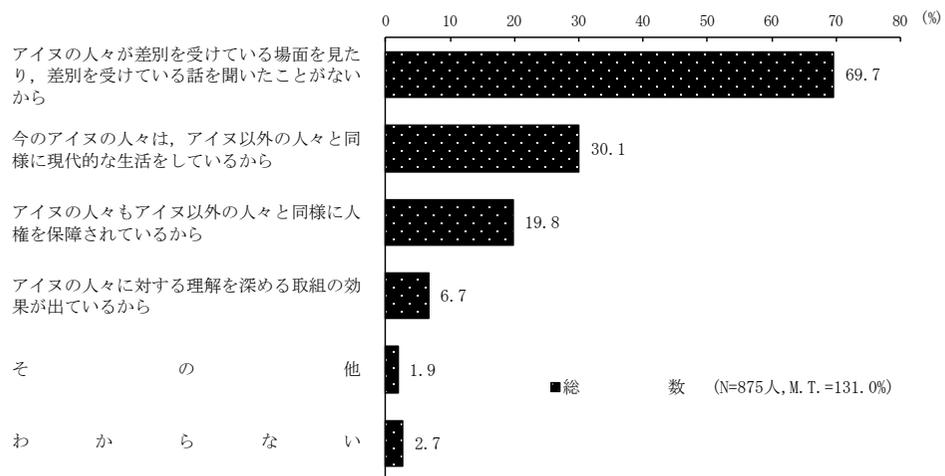
更問4 (問2で「ないと思う」と答えた方 (875人) に)
あなたは、なぜ差別や偏見がないと回答しましたか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位2項目)

平成28年1月

- ・アイヌの人々が差別を受けている場面を見たり、差別を受けている話を聞いたことがないから 69.7%
- ・今のアイヌの人々は、アイヌ以外の人々と同様に現代的な生活をしているから 30.1%

〔アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見がないと思うと答えた者に、複数回答〕



アイヌの人々を対象とした調査

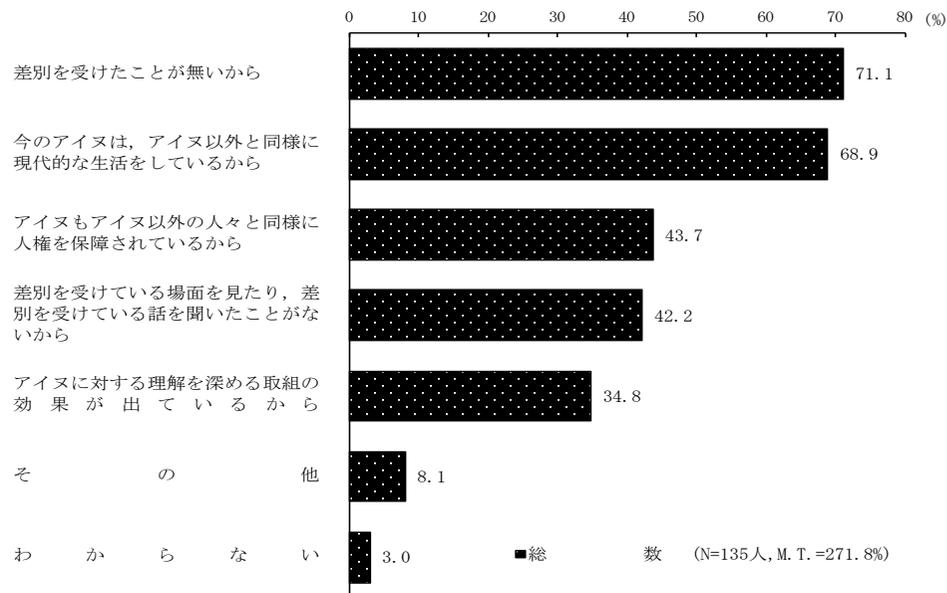
更問5 (問1で「ないと思う」と答えた方 (135人) に)
なぜ差別や偏見がないと回答しましたか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位2項目)

平成27年11月

- ・差別を受けたことがないから 71.1%
- ・今のアイヌは、アイヌ以外と同様に現代的な生活をしているから 68.9%

〔アイヌに対して、差別や偏見がないと思うと答えた者に、複数回答〕



3 国民理解の促進について

(1) 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

国民全体を対象とした調査

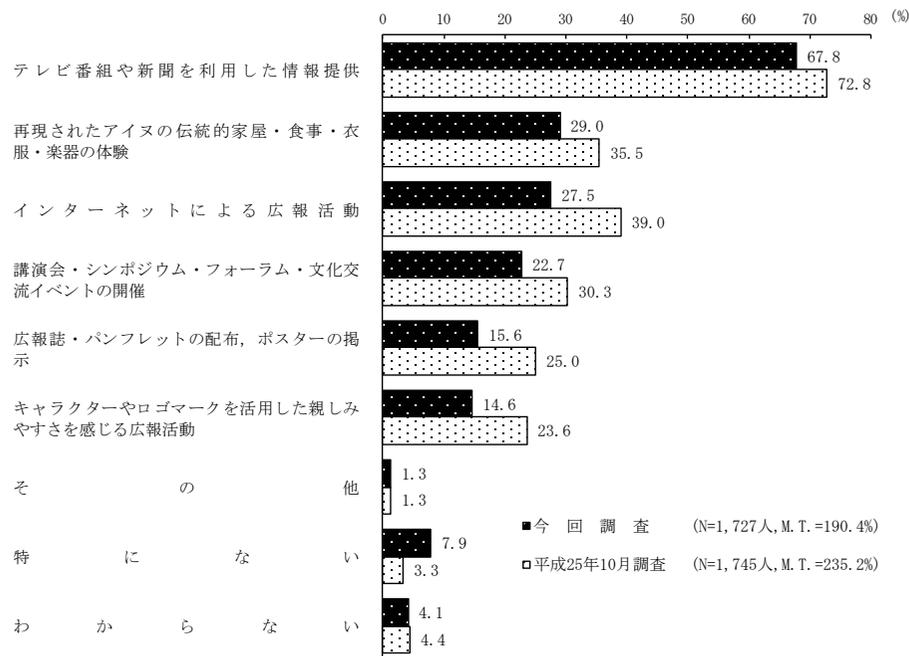
問3 あなたは、広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位4項目)

平成25年10月 平成28年1月

- ・テレビ番組や新聞を利用した情報提供 72.8% → 67.8% (減)
- ・再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験 35.5% → 29.0% (減)
- ・インターネットによる広報活動 39.0% → 27.5% (減)
- ・講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催 30.3% → 22.7% (減)

(複数回答)



アイヌの人々を対象とした調査

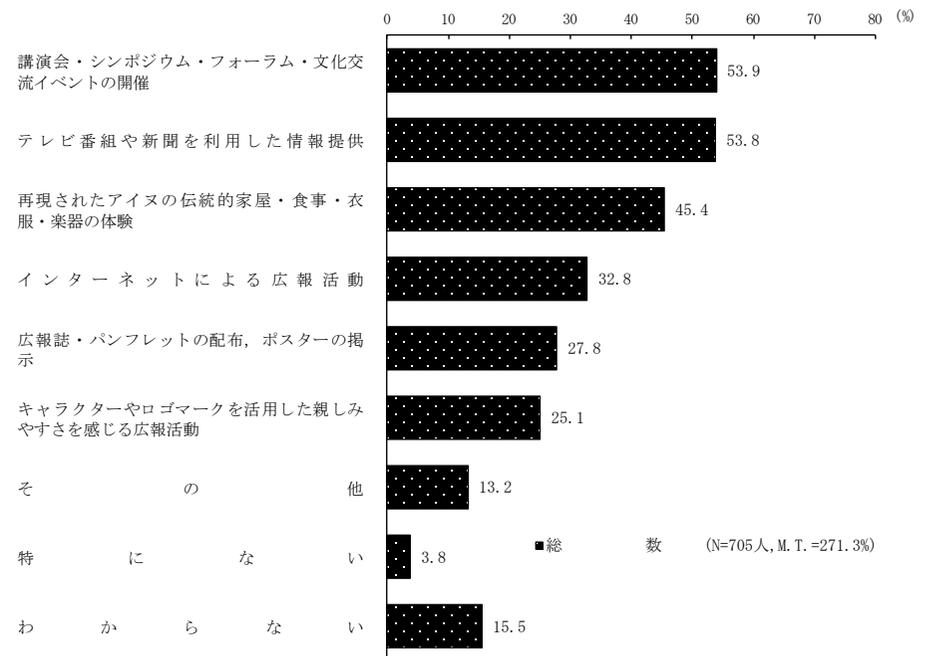
問2 広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位4項目)

平成27年11月

- ・講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催 53.9%
- ・テレビ番組や新聞を利用した情報提供 53.8%
- ・再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験 45.4%
- ・インターネットによる広報活動 32.8%

(複数回答)



国民理解の促進に向けて効果的な取組方法（時系列）

（複数回答）

	該 当 者 数	テレビ番組や新聞を利用した情報提供	再現されたアイヌの伝統的 家屋・食事・ 衣服・楽器の体験	インターネットによる 広報活動	講演会・シンポジウム・ フォーラム・文 化交流イベントの開催	広報誌・パンフレットの 配布、ポスター の掲示	キャラクターやロゴマーク を活用した親 しみやすさを感じる 広報活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
今回調査	1,727	67.8	29.0	27.5	22.7	15.6	14.6	1.3	7.9	4.1	190.4
平成25年10月調査	1,745	72.8	35.5	39.0	30.3	25.0	23.6	1.3	3.3	4.4	235.2